

附屬品定價表

昭和十二年八月廿七日改正

品名	備考	定価	送料	品名	備考	定価	送料
クロームフィルム	A 1000枚入	.60	.10	明光印畫紙(複製)	24枚入	.25	.10
Sバンクロフィルム	クク	.75	ク	同(複製)	20枚入	.25	ク
明光フィルム	クク	.45	ク	明光煉製微粒子現像薬	1組	.25	.10
フィルタ-25	Y1.Y2. O1.R1. G1.	.80	.03	同			
レンズフード	25ミリ用	1.10	.10	白晝現像液	大	.20	.05
アダプタメント	5+1用 1.5用 2.5用	.50 1.00 2.00	.03	白晝定着液	大	.15	ク
皮製ケース	A	1.80	.10	小	大	.10	ク
	B	2.40	.10	明光タンク	A列用	2.00	.10
	C	3.30	.14	明光現像器	A列用	.60	.10
金屬製三脚	三段伸	3.30	.22	現像バット	カビキ 三枚用 手洗 一枚用 右側 二枚用	.60 .35 .25	.10 ク ク
	四段伸	4.50	ク	計量カップ	4オンス用 10オンス用	.20 .30	.10 ク
	五段伸	5.70	ク	液温器		.30	.10
木製三脚	二段伸	1.50	ク	明光焼付器	A列用	.30	.10
皮製三脚袋		.85	.10	乾燥剤		.10	.10
布製三脚袋		.20	.03	ピンセット		.06	.03
雲臺		1.00	.10	セルマスタ	A列用	.10	.03
集点布		.70	.10				
寫真上述の手引		.50	.06				

(御注意) 送料は郵費、押込は二倍、郵部、須賀、南洋、支那は四倍でございます



明るい人生は
よい趣味から!

高尚な趣味は人格を向上し、良い娯楽は人生を明るく致します。カメラはあらゆる時、あらゆる人生に於ける、良い伴侶となり、その寫眞藝術により美的觀察眼を養ひ、大自然と親しむの結果、知らず知らず品性を向上し、また時々別々と變る世相、と總ての姿とを止めて、これを永久に保存する事が出来ますから、誠に意義深い記念を残すものであります。然し従來のカメラは、高價なものと、諸材料の高いのとまた操作の非常に面倒の爲め、一般大衆的の娯樂品として多々遺憾の點がありました。

ナイス號は此處に着眼致し、大量生産と、合理的製作に依つて、優秀にして體裁よき機械を、非常に安價に完成したのであります。そして多年苦心研究の結果従來のカメラの缺點を改良し其操作上非常に平易にして優秀なる撮影の出来る事は他の追従を許さぬ處であります。

また頗る難かしかつた、現像及び印畫焼付を、暗室や、其他色々面倒な設備を要せず、自分で楽しみ乍ら、極簡易な方法で、然も白晝堂々と、綺麗な寫眞を仕上げる事が出来ますから、誠によい趣味と實益を兼ねた最も理想的なカメラであります。

發賣元 東郷堂寫眞工業株式會社

ナイス號

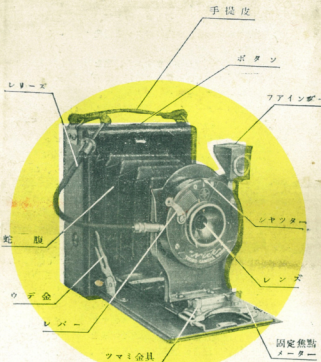
NICE CAMERA

NICE CAMERA

NICE CAMERA

撮影法

ナイス號圖解



機能と部分解説

○ナイス號のレンズ(鏡玉)
フロント・クラウン單玉
焦點距離 八五ミリ(F11)

○カメラの開け方、閉め方
寫眞を寫す場合は先づカメラの上部、手提皮の所にある、中央のボタンを指先で押へます(第一圖)

自動的に蓋が少し開きますから、之を兩腕がカチツといつて止まる所まで開きます。そしてつまみ金具を引出して、固定焦點メーターの位置まで蛇腹を伸ばします。(第二圖)

これで撮影の用意が出来ました。露光時はつまみ金具を横に直ぐに押込みますと、蛇腹は縮んで胴體の中に隠ります。

完全に隠りましたら、兩腕金を指先で心持下方に押へ乍ら、蓋がパチリと音を立てる所まで閉めます。(第三圖)

○シャッター・露出調節器
第四圖はナイス號の前面部を示したもので指針(イ)を動かして露出の調節が出来た様になつて居ります。外側の上部には0、1、2、と三個所に印がありますから指針を動かして0の處に持つて来ますとレンズが開放になります。これは位置を定める時、又は永い露出を興へる時に使います。

次に指針をBに合せレバー(ロ)を押せばレンズが開き放せば閉ります。これは

光線の弱い時、日差、曇り日、室内、朝夕等の撮影に使用いたします。

次に指針をIに合せ(これは光線の強い被寫體、例へば日光直射の雲、空、明るい海岸等の撮影に使用します。)レバーを押せばレンズが開き、同時に閉ぢて了ひます。
(ハはレリーズ露出ロ、添付のレリーズをはめ込み、レリーズの頭を押しますとシャッターが動きます。

○ファインダー(位置視)

反射式ファインダー
ピントガラスに映る畫像は、甚小小さく反射ファインダーにも映つて居りますから、これで位置を定めても真い譯であります。

本器のファインダーは廻轉式で、縦横兼用になつて居りますから、横位置で撮影する時には、寫眞機を横にすると同時に、ファインダーも横に廻して下さい。

○固定焦點メーター(距離計)

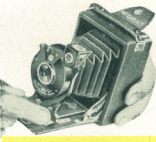
撮影の際レンズの下にある、つまみ金具を引出して此の固定焦點メーターの溝で止めて下さい。蛇腹が固定焦點の位置まで出なかつたり、又は出し過ぎたりして、撮影しますと焦點がボケてよく寫りません。

但し初歩の内は、固定焦點メーターのみに依らずなるべくピントガラスで焦點を合せた方が間違ひありません。

①



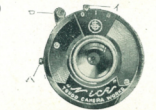
②



③



④



撮影法

先づ撮影せんとする物體の方角にレンズを向け、ファインダーの位置まで蛇腹を伸ばし後方の覗き袋を開いて覗き、位置と、焦點が定まりましたら取付蓋込口へマドの切つてある方をレンズに向けて充分迄差込みます。(第五圖)

取付蓋迄差込みましたら右指先で種板の肩の中央部を軽く押へ、右指先で後方の一枚になつて居る黒紙の上端をつまみ直ぐに引上げますと、**寄**のマークのある二重の黒紙が一様に伸び切つて適當な位置に自然に止まります。(第六圖) 此れで完全に機械の中ではフィルムがレンズの方を向いて出て居る譯ですから、後は露出を興へてやりますと、レンズから光線が入つて来てフィルムに寫眞が寫つて了ひます。撮影がすましたら元の通りに引蓋を閉めて取付蓋を抜き取ります。

(第七圖) 折影の終つた種板を直ぐに現像しない時には種板の入つて居た赤い袋に入れて保存して下さい。(但、撮影すみの種板は成るべく早く現像するようにして下さい)

○注意

○馴れて参りますと、寫眞機を手にした儘でも動きませんが、初心の内はどうしても動かし易いものですから何か確かりた臺の上に乘せるか、三脚を使用しして寫した方が間違ひがありません。寫す時に少しでもカメラが動きますと畫像が二重、三重になつて見にくい寫眞が出来上ります。

○撮影の際、太陽の直射光線がレンズに當りますと、暗筒内のフィルムにハレーションといふ現象を起しまして、眞黒な原板が出て了ひます。それで速光線撮影等の場合には、必ず、黒い紙か帽子の様なものを利用して、レンズに當り直射光線を避けられる様御注意下さい。

○動いて居る被寫體を撮影する場合は、なるべく正面又は斜めの位置から、寫眞機を向ける様にして下さい。前を横切る被寫體は動きが大きく、相當速い露出時間でなければなりません。

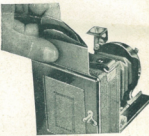
○露出

レンズの蓋を開けて、レンズから暗筒内に光線を入れる事を露出、そしてレンズの蓋が開いてから、閉ぢる迄の時間を露出時間といつて居ります。この露出時間が寫眞の中では、最も重要な役割を持つてゐます。

さて春夏秋冬、四季を通じ、また朝、晝、夕方等によつて、光線の明るさは可成り違つて参ります。常に夏の光線は非常に強く、冬の光線は非常に弱い事は申し迄もありませんが、同じ夏でも日光直射の場合、日陰、曇り日又はその場所に依つて、光線の明るさに相當變化があります。光線の明るい所は短い露出時間で撮影出来ますし、暗い所は長い露出時間を要します。その要領は添附の露出表に依つて御研究下さい。

露現象、換付法は明光フィルム、印畫紙添付の説明書を御覽下さい。

⑤



⑥



⑦

